

田辺三菱製薬株式会社

2012年度第3四半期 決算概況

(2012年4月1日～2012年12月31日)

2013年2月1日

取締役常務執行役員

小酒井 健吉



田辺三菱製薬

2012年度第3四半期決算概要

売上高

3,225億円（対前年同期比 +2.2%）

- ・レミケード、新薬、ロイヤリティの増収等により2.2%増収
- ・薬価改定影響 △140億円

営業利益

588億円（対前年同期比 △1.8%）

四半期純利益

352億円（対前年同期比 △1.7%）

トピックス

- ✓ レミケードの伸長： 565億円の売上（+10.9%、55億円増収）
- ✓ FTY720（ジレニア）のブロックバスター化：
2012年1～12月売上実績：1,195百万ドル → 当社ロイヤリティ収入139億円
- ✓ 新薬6製品の伸長： 161億円の売上（147億円増収）
- ✓ TA-7284の開発進展： FDA諮問委員会により承認推奨（2013年1月）
- ✓ HCV訴訟損失引当金： 20億円追加計上

2012年度第3四半期 決算概況

(平成25年3月期)



2012年度第3四半期累計期間 決算概況

	2012年度	2011年度	増減		通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,225	3,157	+68	+2.2	4,250	75.9
売上原価	1,267	1,193	+74	+6.2	1,670	75.9
売上原価率	39.3%	37.8%			39.3%	
売上総利益	1,958	1,964	-5	-0.3	2,580	75.9
販管費	1,369	1,364	+4	+0.4	1,880	72.9
営業利益	588	599	-10	-1.8	700	84.1
経常利益	601	603	-2	-0.4	710	84.7
特別損益	-41	-33	-8		-50	83.0
四半期純利益	352	358	-6	-1.7	405	87.0

事業別売上高

【2012年度第3四半期累計期間 決算概況】

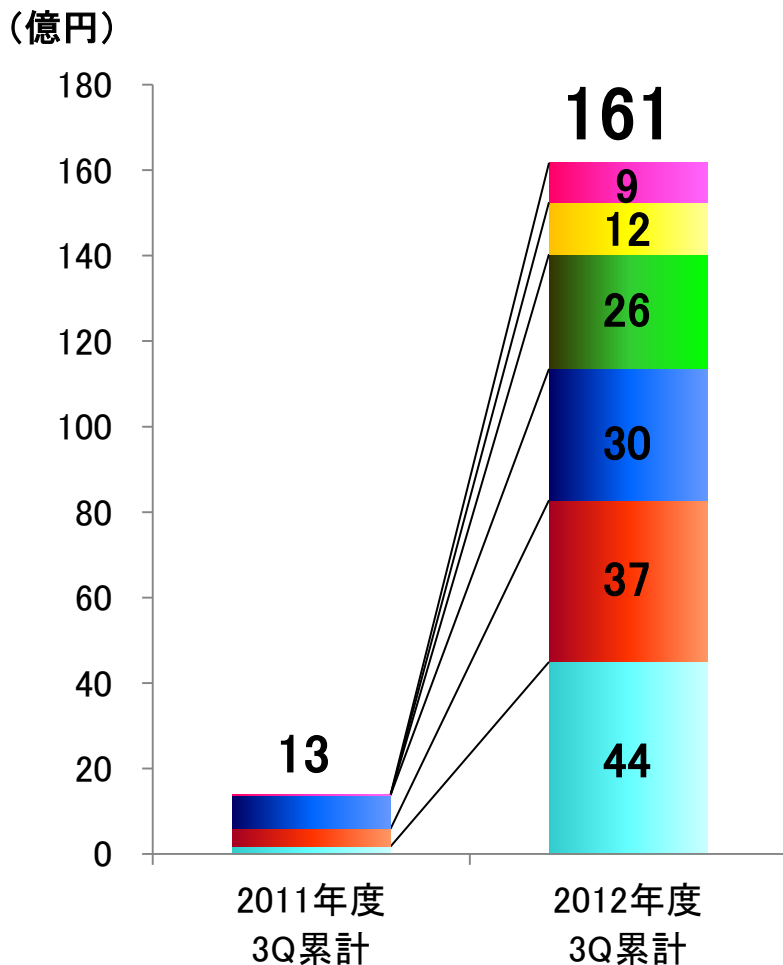
	2012年度	2011年度	増減		通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,225	3,157	+68	+2.2	4,250	75.9
(うち海外売上高)	(319)	(205)	(+114)	(+55.5)	(410)	(77.9)
医薬品事業	3,189	3,083	+105	+3.4	4,205	75.8
国内医療用医薬品	2,785	2,785	0	0.0	3,690	75.5
海外医療用医薬品	152	138	+13	+9.8	235	64.7
一般用医薬品	42	43	0	-1.9	55	77.8
医薬品その他	208	115	+93	+80.8	225	92.7
その他	36	74	-37	-50.7	45	81.2

医療用医薬品 主要製品売上高

【2012年度第3四半期累計期間 決算概況】

		2012年度	2011年度	増減		通期予想	進捗率
		億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品		2,785	2,785	0	0.0	3,690	75.5
重点製品	レミケード	565	509	+55	+10.9	750	75.4
	メインテート	109	106	+2	+2.7	150	72.9
	クレメジン	94	90	+4	+4.7	125	76.0
	タリオン	89	92	-2	-2.7	150	59.8
新製品	テラビック	44	1	+43	-	85	52.9
	シンポニー	37	4	+33	-	70	54.0
	レクサプロ	30	7	+22	-	55	55.9
ワクチン		239	245	-5	-2.2	295	81.3
(ミールビック)		(61)	(74)	(-12)	(-17.4)	(80)	(77.0)
(インフルエンザ)		(83)	(87)	(-4)	(-4.9)	(85)	(98.1)
(ジェービックV)		(41)	(61)	(-20)	(-33.1)	(60)	(68.9)
田辺製薬販売取扱品(注)		146	134	+12	+9.0	190	76.9
技術導出契約金等		158	50	+108	+216.1	155	102.0
(ジレニア ロイヤリティ)		(139)	(33)	(+105)	(+314.0)	(-)	(-)

注：ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む



■ テラビック ■ シンポニー ■ レクサプロ
 ■ テトラビック ■ テネリア ■ イムセラ

■ テラビック(C型慢性肝炎治療薬)

- ・ 適正使用情報の提供を徹底
- ・ 2012年12月31日現在、登録患者数8,256名

■ シンポニー(関節リウマチ治療薬)

- ・ 4週間に1回の投与と簡便性、高い有効性が評価され、競合品と比較し、順調な市場浸透
- ・ 投与患者数はヤンセンファーマと合計 約7,000人(当社推定)

■ レクサプロ(抗うつ薬)

- ・ 昨年8月の投薬期間制限解除後、売上・シェアともに伸長
- ・ 着実に抗うつ薬市場へ浸透

■ テネリア(2型糖尿病治療剤)

- ・ 第一三共との戦略的販売提携(MR 4,000人体制)を整えて2012年9月10日に新発売
- ・ 第一三共との連携を通じて、製品特性の早期市場浸透と処方拡大をめざし活動中

■ テトラビック(4種混合ワクチン)

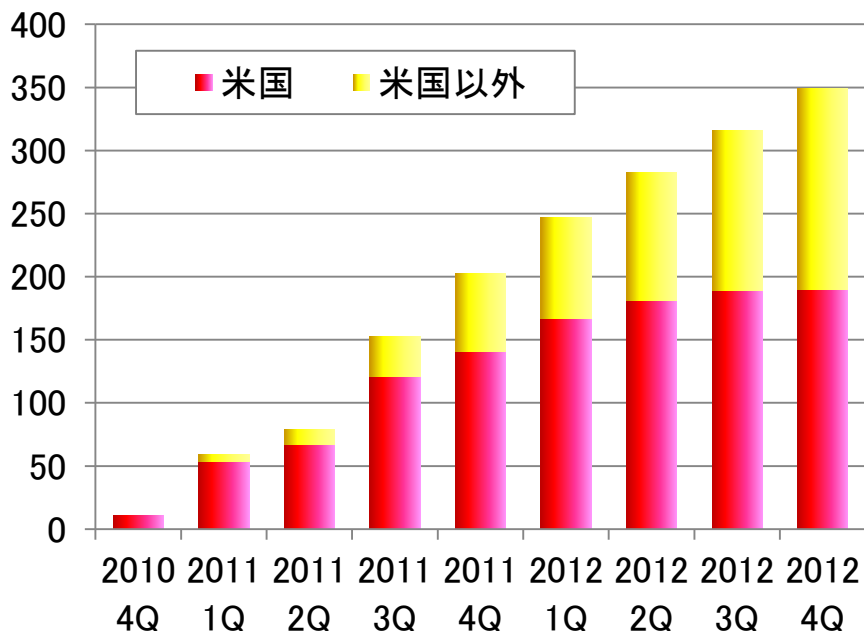
- ・ 2012年10月31日発売
- ・ 2012年11月1日より定期接種化

- ◆ ノバルティス(スイス)による2012年全世界売上高は約12億ドル
- ◆ 65カ国以上で承認取得、発売後の投薬患者数は53,000人以上
- ◆ 国内は2012年12月1日より投薬期間制限解除
 - ー 12月度売上高(薬価ベース)は前月比49%増*
 - ー 12月度市場シェアは35%*

* 売上、市場シェアともにノバルティスファーマとの2社合計

©2013 IMSジャパン(株) 出典:2012年11月~12月JPMをもとに作成 無断転載禁止

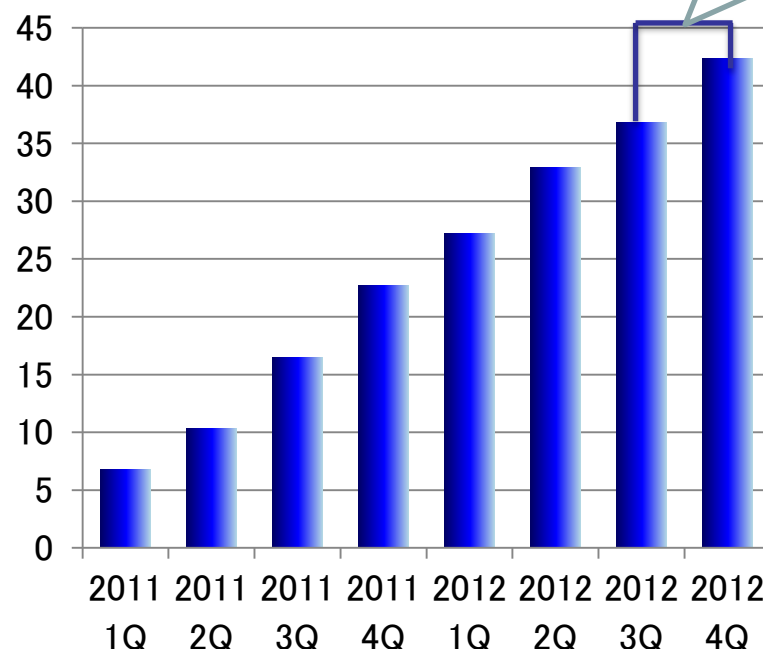
(USD m) 全世界での売上高推移



出典:ノバルティス決算発表資料より

(10-12月)

(億円) ロイヤリティ収入の推移



2012年度3Qに計上

(10-12月)

売上原価・販管費

【2012年度第3四半期累計期間 決算概況】

	2012年度	2011年度	増減		通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,225	3,157	+68	+2.2	4,250	75.9
売上原価	1,267	1,193	+74	+6.2	1,670	75.9
売上原価率	39.3%	37.8%			39.3%	
売上総利益	1,958	1,964	-5	-0.3	2,580	75.9
販管費	1,369	1,364	+4	+0.4	1,880	72.9
研究開発費	512	516	-3	-0.8	700	73.2
人件費	384	388	-4	-1.1	515	74.6
のれん償却額	76	75	0	+1.2	102	75.4
その他	396	384	+12	+3.1	563	70.4
営業利益	588	599	-10	-1.8	700	84.1

營業外損益・特別損益

【2012年度第3四半期累計期間 決算概況】

	2012年度	2011年度	増減		通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	588	599	-10	-1.8	700	84.1
営業外損益	12	4	+8			
経常利益	601	603	-2	-0.4	710	84.7
特別利益	12	-	+12			
固定資産売却益	6	-	+6			
事業譲渡益	3	-	+3			
特別損失	53	33	+20			
事業統合関連損失	22	-	+22			
HCV訴訟損失引当金繰入額	20	-	+20			
投資有価証券売却損	3	-	+3			
減損損失	3	29	-25			
四半期純利益	352	358	-6	-1.7	405	87.0

開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-teal gradient, starting with a solid blue bar on the left and fading into a light teal gradient on the right.

開発パイプラインの進捗状況

→:2012年10月29日以降の進捗

		機序 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
自社 開発品	MCI-196/ BindRen	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	欧州	→				
	MP-424	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	台湾				→	
	MT-9938	κ オピオイド受容体作動剤 (難治性そう痒症)	米国		→			
	MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー病)	日本	→				
	MT-1303	S1P受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州		P2開始 間近			
	MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド 受容体拮抗剤(糖尿病性腎症)	欧州		P2開始 間近			
導出品	TA-7284/ INVOKANA	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	米国 (ヤンセン ファーマシューティカルズ)	→ FDA諮問委 で承認推奨				
	MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国 (サマファーマ)		→			
	MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	日本 (協和発酵キリン)	→				

TA-7284／カナグリフロジン(2型糖尿病)

<欧米／ヤンセン ファーマシューティカルズに導出>

- 2013年1月10日、FDA諮問委員会が承認推奨(PDUFA : ~2013年3月)
- 米国製品名(予定): INVOKANA
- 2012年12月、メトホルミンとの合剤を米国で申請
- 欧州は2012年6月に申請、EMAディシジョン: 2013年Q3(7~9月)

<日本／自社開発>

- フェーズ3試験を実施中
- 2013年度上期申請予定

MCI-196(高リン血症)

<欧州／自社開発>

- 2013年1月、欧州で承認取得
- 製品名: ビンドレン(国内製品名: コレバイン)
- 2013年4月、ドイツにおいて、ミツビシ ファーマ ドイツが販売開始予定

MT-4666, MT-9938の開発進展

MT-4666(アルツハイマー病)

＜日本／米エンヴィヴォより導入、自社開発＞

- 2012年12月、フェーズ2試験を開始
- $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン($\alpha 7nACh$)受容体作動剤
- $\alpha 7nACh$ 受容体は、認知機能に関与の深い大脳皮質と海馬に主に存在し、認知機能に大きな役割を有すると考えられている

MT-9938(難治性そう痒症)

＜米国／東レより導入、自社開発＞

- 2012年12月、フェーズ2試験を開始
- κ オピオイド受容体作動剤
- 透析患者に多くみられる痒みを対象として治験を実施する
- 日本では透析患者を対象として2009年より販売中(東レ／鳥居：商品名レミッチ)
- 国内使用経験から精神・身体依存性は共はないと考えている

MT-3995, MT-1303の開発進展

MT-3995(糖尿病性腎症)

<欧州／自社開発>

- フェーズ2試験、開始予定(現在、投与待ち)
- 選択的ミネラルコルチコイド(MR)受容体拮抗剤
- 高カリウム血症が少ないことと、性ホルモン関連等の副作用の軽減を期待
- 日本では、フェーズ1試験を実施中

MT-1303(多発性硬化症)

<欧州／自社開発>

- フェーズ2試験、開始予定(現在、投与待ち)
- スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト
- FTY720(イムセラ/ジレニア)よりも、安全性の高い薬剤をめざす
- 日本ではフェーズ1試験を実施中

*New **Value** Creation*

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。